

であるので再建プラン等で支援している。最終的には就職に結び付けたい。

問 社会福祉協議会からのメッセージや相談はないか。

答 関係者による月1回の会議を実施している。

生活困窮者自立支援への取り組みは

問 実態把握調査はしているか。

答 生活に困っている・親と同居で困っている・引きこもりである・親が亡くなってから困窮状態である・働いていないが収入が少ない等把握はしているが、本人から相談がないとこちらから動くことはできない。

問 総合的に支援すること、税金の収納や困窮者を救うことが出来ると思うか。

答 関係課と連携して考えていきたい。

障がい者福祉への取り組みは

問 障がい者就労施設等からの物品等の調達実績と今後の取り組みは。

答 929万5,851円を障がい者就労施設から調達した。平成27年度は、26年度実績を上回る額を目標としている。

問 障がい者相談支援事業について、相談支援専門員2人で対応は十分か。

答 相談件数は1,605件であった。相談窓口が健康福祉の里にあるので、すぐに各担当課と連携して取り組んでいる。

問 自殺予防対策として、ゲートキーパー、傾聴ボランティアの市民周知がもっと必要ではないか。

答 広報やチラシ等で周知、産業まつり等の行事でPRしているが、今以上に市民への周知が必要であると考えている。

問 自殺予防対策として、ゲートキーパー、傾聴ボランティアの市民周知がもっと必要ではないか。

答 広報やチラシ等で周知、産業まつり等の行事でPRしているが、今以上に市民への周知が必要であると考えている。

※ゲートキーパーとは：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることが出来る人のこと、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

がん検診について

問 全体の受診率は前年度より向上しているが、目標には達していない。今後の取り組みは。

答 目標としている受診率50%には、が



検診で早期発見・早期治療を

問 精密検査対象者への取り組みは。

答 精密検査の受診率は50.72%で、がん発見者数は15人であった。受診率100%を目標として、通知電話、訪問等で受診の推進に努める。

問 スキップカードのポイント付与の効果は。

答 6万3,500ポイント（12万7,124円）の付与となった。検診のPR効果、遠野すずらん振興協同組合による受診勧奨の協力があつた。また、受診者の満足度が上がり、継続受診に結びついていくと考える。

畜産振興対策は

問 遠野牛確立生産強化対策事業費の不要額の要因は。

答 繁殖優良素牛導入300頭で1千万円の予算に対して、145頭の472万円にとどまったことによる。

問 計画を下回った理由と今後の対策は。

答 導入は更新主体の現状維持と子牛価格の高騰で販売傾向が強くなったことによる。

問 価格高騰が続いているが補助単価見直しの考えはないのか。

答 国や県の補助制度も検討しながら現在の単価設定を含め、JA、生産者団体と今後協議を進めていきたい。

問 遠野生まれ遠野育ちの遠野牛ブランド化の取り組み実態は。

答 肥育経営体5戸、1社で約2,200

問 遠野生まれ遠野育ちの遠野牛ブランド化の取り組み実態は。

答 肥育経営体5戸、1社で約2,200



山林の適正な経営を

公有林の経営計画と活用について

問 公有林経営計画再編調査事業費35万1千円の内容は。

答 第13次公有林経営計画では伐期到来木をどのように伐採していくべきか今回調査した。

問 調査した樹種はスギとカラマツで、林齢は54年から72年、面積は

1587ヘクタール、その材積は36,851m³である。

問 第13次公有林経営計画で整備する市有林の利用計画のとり方は。

答 スギの場合、長伐期は80年だが、80年を待たずに伐採するよう取り組んでいる。

問 今後は、市有財産という総合的な中で公有林の活用を考えるべきでは。

答 そのような考えのもとに取り組んでいく。

松くい虫の対策について

問 松くい虫駆除業務の実績は。

答 年間600m³の処理を目標に臨んでいるが、26年度は前年度繰り越し分を含めて831,04m³の処理で、被害はまだあるため、その抑制に努めている。

物産振興について

問 特産品をPRする事業の成果は。

答 テナントや友好都市等のイベントに出店し、特産品の紹介・販売業務をふるさと公社に委託している。一番は特産品を知ってもらうこと。続けることで徐々に広がって欲しいという思いの事業である。

問 ふるさと公社と商工観光課との間で、情報の交換はなされているのか。

答 情報共有している。何がいくら売れたかは当然の事であるが、購入者の反応や売れ筋商品はイベント開催の地域によっても大きく異なっている。データを蓄積しながら、品揃え等に対応している。

問 最終目的は販路の拡大であるはずだが手応え・感触はあるのか。

答 イベント開催地のスーパードライ等を下調

問 イベント開催地のスーパードライ等を下調



遠野駅前周辺への誘客と回遊を

SL停車場プロジェクトについて

問 SLが停車する限られた滞在時間内に、観光や飲食、お土産の購入等、中心市街地を回遊できる仕組みが重要である。遠野駅前から各施設、各店舗等への移動手段の確保、宮守駅で駅弁を販売し車内で昼食を済ませる。

問 SL関連の商品開発について検証は。

答 弁当、菓子、焼酎、ワイン、クリアファイル等に取り組んできた。今後も関係団体と一緒に進めていく。

問 見通しが甘かったのではないかと。値下げをする場合でも、地元で段階を踏んで説明をしたのか。

答 土地価格整備審議会を開催し、価格の見直しを話したが意志の疎通が十分でなかった。

問 地元の方々に協力を促すに驚いていないか。

答 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。



工事が進められている稲荷下地区

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。

問 急傾斜や整備車両が入っていない個所や、樹木も大きくなって届かない場所もあり、来年から始まる総合計画で予算を増額希望し、安全で眺望を含めた地域を促進していきたい。